

○開催日時：2010年3月19日(金) 15:00~17:00

於：関西経済連合会 29階会議室

○講師：次世代スパコン講演会「いま、次世代スーパーコンピュータが目指すもの」

「次世代スーパーコンピュータ計画と革新的ハイパフォーマンス・コンピューティング・インフラ(HPCI)の構築について」

井上諭一氏（文部科学省研究振興局情報課 計算科学技術推進室長）

「次世代スパコンの活用方針、産業界との連携方策」

加藤千幸氏（東京大学 生産技術研究所 革新的シミュレーション研究センター センター長・教授）

「大画面裸眼立体映像システムのリアルタイムレンダリングへのスパコンの活用」

木村和宏氏（独立行政法人情報通信研究機構 けいはんな研究所 ユニバーサルメディア研究センター 推進室長）

「(財)計算科学振興財団の活動紹介」

青戸忠明氏（財団法人計算科学振興財団常務理事 兼 事務局長）

○出席者数：51名

○アンケート回収数：24名

○概要

神戸に建設中の次世代スーパーコンピュータは、国家基幹プロジェクトとして位置づけられ、日本の科学技術レベル向上の一翼として様々な分野での活用が期待される。

井上室長は、昨年の事業仕分けを機に、①スパコン開発者視点から利用者視点への転換、②多様なユーザーニーズに応えるため、国内の他のスパコンとネットワークで結ぶ、など新たな考え方と、運用面では人材育成が重要であると述べられた。加藤教授は、自動車等ものづくり分野におけるスパコン活用の成功例を紹介し、こうした成功事例が蓄積することで産業利用が進むのではないかと示唆された。木村室長は、利用者側のニーズとして、裸眼3Dディスプレイの開発にあたっての利用を紹介された。青戸常務は、次世代スパコンの利用者支援や産業利用促進の活動を紹介された。

参加者アンケートでは、「分かりやすかった」が96%であり、「次世代スパコンに関する最新の状況がつかめた」、「人材育成の重要性を感じた」など好評を得た。

